

福岡県周辺の基地の動き 第7号

自衛隊統合演習は東アジアの軍事緊張を高める！

平成23年度自衛隊統合演習（実動演習）は11月14日～18日、「武力攻撃事態に際しての自衛隊の運用について演練し、統合運用能力の維持・向上を図る」目的で、九州南西・沖縄方面の周辺海域・空域及び基地等で実施された。

今回の主要演練を統合幕僚監部は、「島嶼部の防衛を含む各種行動」として①海上・航空作戦、②弾道ミサイル対処、③基地警備、④統合輸送と知らせた。この演習を前後して「西部方面隊実動演習」、「北部方面隊の協同転地演習」、「海上自衛隊実動演習」、「機雷戦訓練と掃海特別訓練」、「日韓捜索・救難共同訓練」なども実施され、つくりだされた「中国脅威論」を背景に、これらの演習は日本全体を「戦争状態」にし、3自衛隊の一体化だけでなく、民間力も活用された演習であった。

築城基地での自衛隊統合演習は？

築城基地では、基地警備訓練と基地防空戦闘機訓練が実施され、空自中部航空方面隊の第4高射群第15高射隊（岐阜基地）と陸自中部方面隊第8高射特科群（青野原駐屯地：兵庫県小野市）の第338高射隊の2つの部隊（福岡県下の部隊でない）が基地北側に配置され、第15高射隊のPAC3とPAC2周辺は鉄条網を敷設し、小倉の第40普連の隊員が機関銃車載の軽装甲機動車で警備パトロール。



第15高射隊のPAC3とPAC2ミサイル



第338高射隊の81式短距離地对空ミサイル。他に93式近距離地对空ミサイルも配置

日出生台を島嶼にして演習！

北海道から初めて実施の鉄道と海上輸送の協同転地演習は、津軽海峡フェリー「ナッチャン World」を使用。10式戦車搭載のため、6月から改造されたと言われ、苫小牧西港→大分港に10式戦車等を陸揚げ後、鹿児島県志布志港から北熊本の第42普連の隊員と車輛等も別府港に輸送。日出生台では中央即応集団の降下など「島嶼奪還・防衛」の方面隊実動演習。第41普連（別府）は完全武装で島内警戒行軍を対馬全域で展開。この海上輸送にこのフェリーが加わったかは未確認。

鉄道では、札幌から西別府までJR貨物で73式装甲車10両を輸送。復路も逆コースで輸送され、日豊本線安倍山駅周辺で県平和委員会が11月28日16時20分頃通過貨車を確認。有事体制に向けた民間活用の地ならしが進んでいる。